

平和学習におけるオーラルヒストリーの実践的研究

當銘 直美*1

沖縄県は日本に復帰して40年目を迎え、沖縄戦の体験を風化させずにいこうと学校や地域で、平和を教え、伝える様々な試みが行われている。しかし、67年が経過し、戦争体験者が高齢化し語り手の減少、高齢化による方言での語り、身体的な問題などもあり、貴重な体験、伝承の喪失が危惧されている。そのため、ひめゆり学徒隊におけるオーラルヒストリーをデジタル・アーカイブ化した。メディアの組み合わせによる実践的研究を行った。

<キーワード>デジタル・アーカイブ、道徳、総合的な学習の時間、ひめゆり学徒隊、沖縄戦

1. はじめに

戦後67年の歳月が過ぎ、「戦争体験を次世代にどう継承していくか」ということが、大きな課題となっている。

沖縄戦を生き抜いて命をつないでくれた父がいるから今の私がいる。忌まわしい記憶に心を閉ざした方々の重い口から後世に伝えようと語り継がれる証言は歴史の真実そのものであり、それをつなぐのが私たちの役割だと強く感じる。

学生でありながら戦場へ送られたウムイ(想い)、そして、地域の方の体験として語られたものは貴重な資料といえる。さらに、沖縄戦に関する教材の多くが、テキストやビデオ映像等がほとんどで、絵本以外の小学生向けの教材が少ないというのが現状である。

以上の現状を踏まえて、本研究ではひめゆり学徒におけるオーラルヒストリーの実践的教育を行うことで、より平和学習を理解し、深めていきたい。また、戦争を知らない世代に私たちの祖先が歩んだ歴史的体験をオーラルヒストリーとメディアを組み合わせ語り継ぎ、正しく継承することで「昔」の戦争を「今」として学ぶことができるようになる。と考える。

2. ひめゆり学徒隊におけるオーラルヒストリーの作成

地域社会・家庭においても、高齢化による語りの減少や身体的などの理由により戦争体験を次世代へ継承されることも減ってきた。したがって、「ひめゆり学徒隊におけるオーラルヒストリー」のような、戦争体験者の体験談をデジタル保存した教材の必要性がますます高まっていくものと考えている。

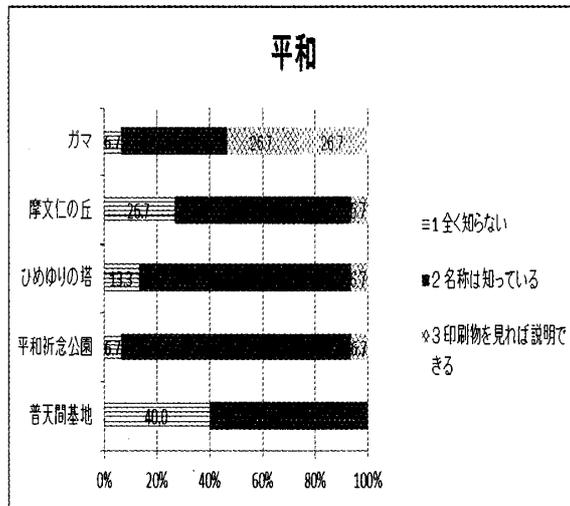
沖縄の平和教育推進のため、沖縄戦体験者の体験談を収集・保存することは極めて重要であり、その手法としては、オーラルヒストリーによるデジタル・アーカイブ化が最適であると考えている。

北城先生の体験談は、歴史的な資料性が高く、また教材としても、当時の様子を継承する資料としてとても貴重なものである。これは、今後の平和教育を行うにおいてデジタルアーカイブ化し、残すべきものである。

県内の小中高等学校の児童・生徒は、慰霊の日である6月23日が近づくたびに沖縄戦についての平和学習が行われる。しかし児童の意識調査(本校5年生対象)では、「ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館」について「全く知らない」(13.3%)、「名称

*1 TOME NAOMI 名護市立真喜屋小学校

だけは知っている」(80%)と下記のような低い結果であった。



(2) オーラルヒストリーの撮影方法

方法として、オーラルヒストリー質問表の作成、語りの撮影・音声記録、文書化などを行った。そして、その中から教材として適する素材を抽出し、教材デジタル・アーカイブとしての構成方法について検討を行った。

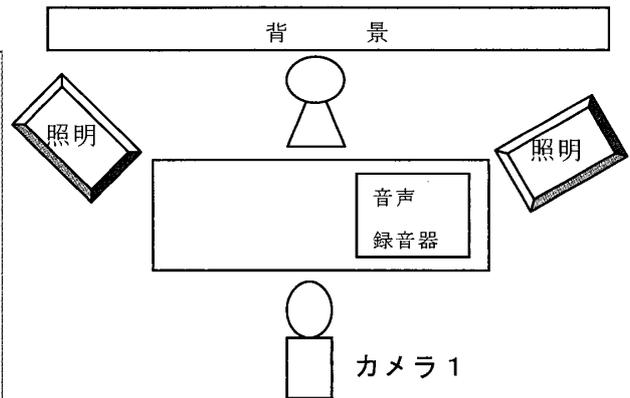
さらに、調査対象を小学校5年生とし、授業検証を行った。その結果から、どのメディアの組み合わせの活用が有効かを研究した。

沖縄戦当時、であった北城先生にオーラルヒストリーとしてデジタル・アーカイブ化を行った。



質問項目の打ち合わせ (小学校放送室)

設置図 小学校放送室



オーラルヒストリー文書化

～女子師範学校生活(夢・希望・学園生活)～

夢や希望? そうねー、母がね、小さいころから教師になれと言う願いがあっていつの間にかそれに沿って遂に、とうとう近くにある三高女にも行かないで女子師範学校に入学することができました。それは昭和18年4月15歳です。師範学校を出るということはやっぱり卒業と同時に教師になるということ。

～学園生活の様子～

昭和16年から完全官費になって、そして私が2回目の官費学生でした。(一部省略)官費ですから、毎月25円をもらいに職員室に行って印鑑押してもらってくるんです。その20円で、寮費、積立、将来東京へ旅行するって積み立て5円、19円が食費、寮費、1円位が自分のお小遣い。その時の飴玉は、10銭で6。とにかくね、家からは全然お金をもらいませんでした。

～軍事化されていく学園の様子～

昭和19年になると、サイパンとかいろいろ玉砕とかニュースがどんどん入ってくるんですね。本当に、沖縄はもう兵隊がたくさんやってくるんですね。私たちはもう作業。(一部省略)それから那覇飛行場の拡張。その時にはもう、那覇飛行場は今、考えると馬鹿げた仕事なのかなと思うんですけどね。大きな石ローラーを自分たちが引っ張って、この、滑

走路を固めていく。こういうこともあって。なんだ日本はだめだ、やっぱり負けたんだなど、今、つくづく思うんですね。あの機械化されたアメリカの力には絶対になかなかたんだなって。今思うことなんですけどね。こういうことも、自分たちも国のために勝つんだ、絶対、負けると思っていない。勝つまでがんばるんだということ。

戦争への動員（戦争への意識・家族への想い）

6月の18日。し、静かに！静かに。敵だ！敵だ！という声。みんな、静かにして。機関銃！機関銃！っていう音も聞こえる。たぶん、反撃することでしょうね。さ、こうなって、静かに物も言わなえでやってる。日が暮れて。

解散。私たちはすぐ解散？解散？この壕出て行けて？私たちはすぐ解散。その時の、その気持ち。なにを！今までこきを使って。私たちはこんなに一生懸命に軍のために働いて、こき使って。今出ていく？どこに行く？どこの壕に。どこに行く。放り出されるから悔しくて、悔しくてたまらない。いいえ、死ぬのも一緒。だめ、って叫んで。

3. 授業の計画・実施方法・評価の記述



(1) 授業の計画

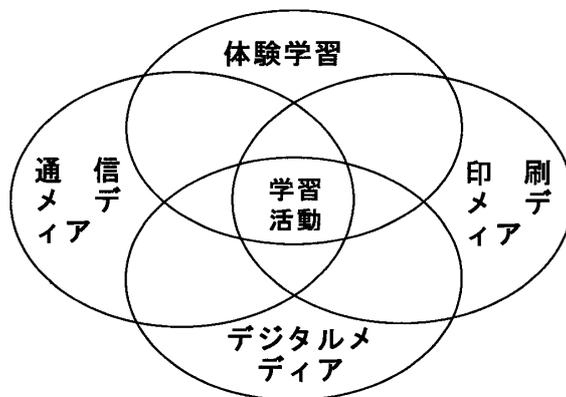
現在、戦争体験者の高齢化、身体的理由などにより直接話される機会は少なくなっ

ている。そのため、オーラルヒストリーのデジタル・アーカイブとして構成できる時間的な余裕はない状況になってきている。教育現場における平和学習でオーラルヒストリーを教材化することで命の尊さ、生命尊重を語り継ぐ大切なものになると考える。

しかし、このような状況の中、オーラルヒストリーそのものを、そのままの状態での教育現場で活用することは難しい。昨年6月の平和学習で講話をされた方は90歳を超える高齢者であったため、児童は方言を聞きとれなかった。

以上のことから、体験者の貴重なお話ではあるが、オーラルヒストリーをそのままを教材化することは難しいと仮説立てた。

そして、この研究では、ひとつのメディアだけではなく、デジタルメディアと印刷メディア等を組み合わせることにより、児童の理解を深めるために紙芝居を制作し、検証授業を行った。



教材環境の構成

(2) 実施方法

小学校5年生を対象に、あるクラスではオーラルヒストリー（北城良子さん本人の映像のみ）だけのメディアで授業を行った。

次に、オーラルヒストリーを基にした紙芝居を作成し、本人の音声を取り入れた。最後は、紙芝居に語り手を北城良子さん本人の映像を取り入れ授業検証を行った。

児童の知識理解を図るために、事前・事後アンケートを実施した。

①調査目的

どのメディアの組み合わせを活用することが、児童の学習理解を深めるための方法となるかを目的とする。

②調査期日：平成24年6月28日

～平成25年1月8日

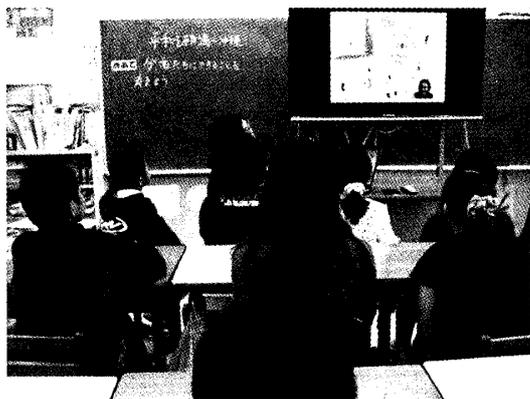
③調査対象：小学校5年生（合計91名）

④調査内容：

ア オーラルヒストリー（北城良子さん本人の映像のみ）だけの授業

イ 紙芝居と語りを音声だけの授業

ウ 紙芝居に語りをしている北城良子さん本人の映像を取り入れた授業



4. まとめ

小学校の発達段階ではオーラルヒストリーそのものを授業に活用することは難しい。オーラルヒストリーの流れを把握させるために、紙芝居にすることで児童の理解を深めることに役立ったと言える。児童の感想から、児童により具体的にイメージさせながら理解を深めることができることがわかった。

その結果、オーラルヒストリーを教材化する場合は、新しいメディアを追加する必要があることがわかる。

デジタルメディアを活用した授業は、音声の説明だけでは理解が困難な課題や抽象

的な概念をよりイメージ化することにより、児童の思考を助け、学習内容の理解を深めることができると考える。これは、紙芝居と映像を活用したクラスの事前アンケートで「沖縄戦やひめゆり学徒隊について分かること」では、「人が殺し合った」「沖縄でたくさんの人が死んだ」という抽象的な回答が多かった。しがし、事後では「看護婦として手当に当たった」「壕の中でけがをした人を治療していたけど、けがをした人を置いて逃げた」などより具体的な回答になっていて、学習理解が深まったと考える。イメージとは、「目の前にない対象を直観的・具体的に思い描いた像」（Yahoo!辞典『大辞林』三省堂）という意味を表す。このように小学校の発達段階ではオーラルヒストリーのみでイメージ化をすることは難しい。オーラルヒストリーを教材化する場合は、紙芝居などの新たなメディアを組み合わせる必要がある。また、児童が視覚や聴覚からデジタル教材を視聴することにより、表象が形成されものと考えられる。

参考文献

- 1) 眞喜志悦子「子どもの視点からの沖縄戦のデジタルアーカイブ化とオーラルヒストリーの授業結果の保管方法の研究」(2012)
- 2) 御厨貴「オーラル・ヒストリー 現代史のための口述記録」、中央公論新社(2002。4)
- 3) 沖縄県教育委員会「平成24年度学校教育における指導の努力点」p16、30、64(2011)
- 4) 文部科学省「小学校指導要領解説編 社会科」(2008.8)
- 5) ひめゆり平和祈念資料館「公式ガイドブック ひめゆり平和記念資料館」ひめゆり平和祈念資料館
- 6) 仲宗根政善「ひめゆりの塔をめぐる人々の手記」角川ソフィア文庫